

アルミ製エンジンブロックからシリンダヘッドまで 鋳造金型向けアルミ溶湯検知温度センサ

アルミ鋳造における鑄巣不良低減に貢献する温度センサです

【4つのストロングポイント】

Tough

従来素材よりも長寿命

チノアロイ X シ - ス熱電対は約 700℃ までのアルミ溶湯に対して、SUS、NCF と比較して数倍以上の耐久性があります。

Quality

鑄巣不良低減に貢献

溶湯温度を長時間測定できますので、溶湯温度を検知して、溶湯位置を把握でき流れ不良や鑄巣不良低減に貢献します。

Narrow

狭い箇所の测温可能

チノアロイ X はφ1.6mm からラインナップ。φ3.2 や 4.8 と比べて取り回しが良く細くても従来品より長期間、温度測定が可能

Custom

ユーザ毎の鋳造金型に適合

複雑なエンジンブロック、シリンダブロックの形状など、お客様の鋳造金型サイズに合わせて設計致します。

【計測例】

(A) シース熱電対

チノアロイ X (φ1.6) シ - ス熱電対を、金型治具に取付け加工します。アルミ溶湯と接触すると直ちに指示値が上昇を始める為、溶湯位置を高速で測定できます。

また金型等に常設する場合は、別途ご相談ください。

チノ独自の測定ノウハウで、応答性と寿命を両立する事が可能です。

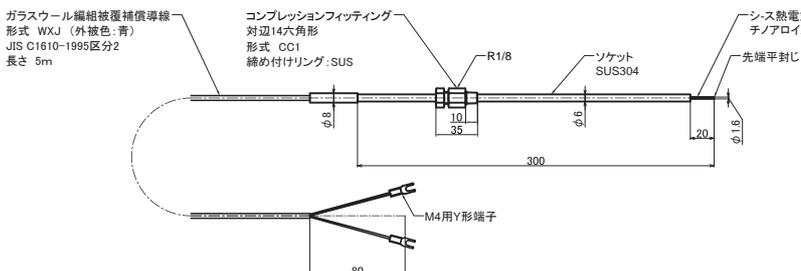
(B) 耐アルミ溶湯向け金属保護管

およそ 700 度までのアルミ溶湯に浸漬・測定できる金属保護管を開発。従来のセラミック保護管のように割れ等による破損を大幅に削減します。

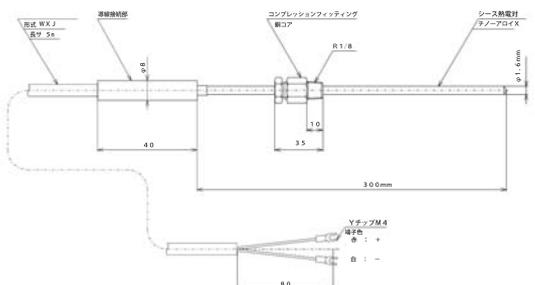


■外形寸法図

●(A) シース熱電対専用仕様



●標準品例



株式会社チノ

※この資料の記載内容は 2019 年 10 月現在のものです。